

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 6 日

仕 事 の 内 容	郷土博物館の施設管理					
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係	課長名	高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 2	-
【施策名】 生涯学習の充実	総合計画書 (ページ)	35	

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	4	郷土博物館費	事業	1	郷土博物館管理費
-----	---	----	-----	---	---	-------	---	---	--------	----	---	----------

1	この仕事の目的	<b>① 誰(何)を対象にしていますか。</b> 郷土博物館の施設 郷土博物館利用者	→	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)</b> 施設利用者
		<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 安全に利用していただく	→	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)</b> 事故件数
		<b>③ そのために何をしましたか。</b> 各種保守点検、施設修繕など。 ①外灯の修繕等 ②各種保守点検	→	<b>③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)</b> ①修繕箇所 ②保守点検件数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	51,207	49,512	53,588	/	/
		成果指標	②の数値	人件	51,207	49,512	1件(駐車場の事故)	/	/
		目 標	②の目標値	件			0		
			目標値設定の考え方		施設利用者に安全に利用していただく				
活動指標	③の数値	①箇所 ②件	295	294	①13箇所 ②13件	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	29,246,025	29,717,717	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	29,246,025		29,717,717
			特定財源		円			
			(うち受益者負担)		円			
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.5		0.5
			所要人数(再任用)		人	0.7		0.7
			職員人件費(再任用以外)		円	4,126,500		4,122,000
職員人件費(再任用)			円					
事業費+人件費		円	0	33,372,525	33,839,717			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		平成6年に、市民の知的好奇心を達成するための社会教育施設として開館。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 施行20年以上経過し、設備の老朽化、機器類の部品製造の中止など、施設管理の課題は当面続くと想われる。 駐車場の事故は、ブレーキとアクセルの踏み間違え、中型バスの切り返しに時にそれぞれ植栽の石壁を損傷したものの。

仕 事 の 内 容	郷土博物館の施設管理			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	施設で管理する樹木伐採を行い、台風24号時も周辺への被害を事前に防ぐことができた。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
		⑧生き物のにぎわう池の管理他（雑木林の会） 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容	
	空調設備については交換部品がなく保守点検ができない状態が続いている。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。	
建築課と調整し予算要求もしたが、予算獲得に至らなかった。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題		
より安価で利用者に影響の少ない工事		

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	公共施設マネジメント課の案も検討しながら、実施計画にも再び挙げていく		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
建築課、公共施設マネジメント課、包括管理業者との連絡、相談など			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。